

2025 年度（第 3 回）合同役員会 議事録

開催日時:2026 年 4 月 24 日(金) 13:30~17:20

開催場所:福岡商工会議所 407 号会議室(Teams によるオンライン併用)

出席者 :【会場】 31 人

(幹事)佐竹芳郎、真鍋和義、末松正典、久保川孝俊、清崎淳子、田沼和夫、西井康浩、
持田拓児、寺地 守、松田 敦、松永榮八郎、寺師政廣、吉住高久、中園健一、
石本俊亮、山田暁通、大森和範、牟田英昭、稲垣浩通、山部鉄朗、岡田裕彰、
松田研志、西尾行生(代理 柿本悦二)、大村 学、原田正則 25 人

(県支部長)福岡仁、山口昭光、高山祐二郎、湯地三子弘、白浜隆寛(代 神田稔弘)、
井内祥人 6 人

【オンライン】 1 人

(幹事)倉成真一、

【欠席】 6 人

藤島義久、棚町修一、緒方正隆、松尾孝則、

オンライン接続不可により欠席 福田達彦、佐藤光雄、(外に聴講予定者 小拂裕之)、

合計 38 名中 32 名参加、欠席 6 名

記

○本部長挨拶

- ・最近の動きとして、本年 4 月より IPD(初期専門能力開発)事業が始まることとなった。登録を開始する。技術士の CPD とほぼ同じ枠組みとなる。対象者が修習技術者となる違いがある。
- ・九州本部では昨年度、全国大会を実施し報告書も完成した。関係した方に感謝する。

○審議事項(承認、決議を必要とするもの)

1. 2025 年度事業実施報告(本部及び県支部事業) 資料 1
 - ・承認する。一部ワープロミスなどは訂正する。
2. 2025 年度度決算報告(本部一般会計、特別会計) 資料 2
 - ・承認する。全国大会収支差が多額となり、本部全体の収支改善に取り組む。
 - ・全国大会補助額はほぼ 10 年間同額だが、見直しの要望提案があった。
3. 2025 年度会計監査報告 資料 3
 - ・監査報告があり承認された。
4. 2026 年度事業計画(本部) 資料 4
 - ・10 月、合同セミナーを開催する。知名度向上、社会貢献は相互に関係しており、関係者がそれぞれの活動を進める。
 - ・県支部の大学・高専への講演では、青年委員会と連携協力する。
 - ・見学会については内容について再考しながら進めることの見解があった。

- ・佐賀県でも合格者祝賀会を開催予定があり、九州全県で開催となる。
- 5. 2026 年度予算(本部) 資料 5
 - ・2025 年度からの繰越が少なく厳しい運営となるため、年間通じて収支改善に取り組む。
 - ・約 52 万円の賃借料のアップに伴い経費の節減を図る。
 - ・2026 年度予算-2025 年度決算の配布が漏れているので、対比一覧を追加する。
- 6. 第 51 回技術士全国大会事業報告 資料 6
 - ・文科省「科学技術・学術審議会」の「技術士分科会」へ、2 月 12 日に初となる開催実施報告を行った。また実施報告書が完成し、HPに掲載している。
- 7. 第 51 回技術士全国大会会計報告 資料 7
 - ・予算案に較べ約 480 万円の増額があり九州本部からの支出となった。
 - ・増額の要因として、福岡から遠隔地のためスタッフなど交通費負担が大きかった、分科会方式のため会場、機材、スタッフの確保などが多く必要となった、会議場でのアトラクションのため音響機器等の設営が必要となった、10 年前と比べ種々の物価高騰があったなどがある。
- 8. 2025・2026 年度九州本部役員、委員会委員・部会幹事の変更 資料 8
 - ・承認する。
- 9. 会長・本部長表彰の推薦会員について 資料 9
 - ・会長表彰推薦については三役会議で審議承認し、県支部も含めて 5 名、3 月 2 日提出している。本部長表彰の推薦 5 名については提案のとおり承認する。
 - ・会長表彰は、6/15 統括本部総会、本部長表彰は 7/18 年次大会で授与される。
- 10. 年次大会開催(案)について 資料 10
 - ・第 61 回の年次大会を 7/18 開催する。事前準備、講演準備など協力をお願いする。
 - ・県支部の年次大会でも、運営者は「リーダーシップ」で、参加者は「コミュニケーション」の科目で CPD 認定も可能となるので検討されたい。
- 11. 地域産学官と技術士との合同セミナー開催について 資料 11
 - ・テーマをさらに具体的に深めて講師等を検討していく。
- 12. 後援名義依頼(合同セミナー関係) 資料 12
 - ・森林技術講演会は、2026 年度は、行事への「協力」の位置づけを予定する。
 - ・合同セミナーの具体化に伴い後援許諾の依頼先として必要な機関は追加する。
- 13. 共催事業の承認、申請(森林技術講習会) 資料 13
 - ・森林技術講演会は、2026 年度は行事への「協力」を予定している。2027 年度「共催」については事前の検討を進める。
- 14. 協賛団体会員の入退会 資料 14
 - ・申し込み手続き中の社も含めて承認する。(会議後 4/27 入会申請書の提出あり)
- 15. 収支改善に向けて 資料 15
 - ・意識改革も進めながら「収入拡大」、「支出節減」、「収支改善」を進める。
 - ・沖縄からの役員会参加は情報共有、意見交換のため、参加していただくことが望ましい。

16. 西日本工業大学との連携・協力について 資料 16

- ・先行事例を参考に包括的な連携協定を進めることを承認する。

17. 九地整新技術評価 WG 規則案について 資料 17

- ・規則案、手引き案について承認する。条文表記についてさらに検討する。
- ・ワーキンググループ員の変更について了承する。

○報告事項(運営・活動状況の報告を受けるもの)

1. 理事会報告 資料 21

- ・選出された幹事は受験指導に関われないことの確認があった。その他、統括本部もマイナス収支であること、九州からの会長表彰推薦 5 名、名誉会員 2 名の承認があったことが報告された。

2. 地域本部長会議報告 資料 22

- ・北海道で二次試験でカンニングの事例について報告があった。
- ・来年の第 56 回日韓会議は、四国・高松で 10/16~18 開催される。
- ・講演テーマについて、一般の人に聴講してもらうテーマについて意見交換があった。

3. 統括本部委員会報告 資料 23

- ・総務委員会、企画委員会(資料のみ)、社会委員会、広報委員会、防災支援委員会から資料の提供があり活動内容の報告があった。広報委員会からは、PR TIMES の契約が切れており再開時には投稿記事を検討することの報告があった。

4. 後援名義、協賛等の許諾報告 資料 12

- ・前回役員会後、新たに 4 件の許諾を報告した。

5. 共有フォルダの活用、グループMLの作成について 資料 25

- ・電子データの取り扱いに際して、公共公益法人への共有スペースのサービスを無料で受け取り、活用できることの報告があった。

6. 県支部からの報告 (長崎、鹿児島) 資料 26

- ・長崎県が工事技術調査業務(行政支援業務)への事前参加資格の申請を公募、告示していることの報告があった。(技術士会の 2024 事業実績報告、2026 事業計画では工事監査業務、技術調査業務も対象となっており、県告示の事例を報告したものである。)
- ・鹿児島県支部から新聞報道の報告があった。

以上

閉会 17:20

議事録署名人

九州本部長 佐竹芳郎 印

副本部長 久保川孝俊 印

事務局長 寺地 守 印